

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)	◎	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前はレストランとして完全に休業していた。8月現在の売上は西洋料理と中国料理で800万円ほどであり、前年比27%の減少である。内訳はランチは同19.5%の減少、ディナーは同32.1%の減少である。
	◎	競艇場（職員）	それ以外	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で休業していた。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前と比べれば持ち直してはいるが、依然厳しい状態である。お盆期間中に休業した取引先飲食店も少なくない。繁忙期に休業するなど今までは考えられないような状況である。今月は初めて新型コロナウイルスの影響で閉店を決めた取引先もあり、持続化給付金などがあっても長期化すればするほど耐え切れなくなってきている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍により一時かなり悪化したが、8月は回復途上にあるといえそうな客の消費意欲、元気がみられる。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・3か月前と比較すれば来客数、売上共に改善しているものの、例年の同月対比で見れば依然として厳しいまま推移しており、景気が戻っているわけでは決していない。
	○	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・不要不急の商品は選ばない、吟味して購入するなど購買動向が抑制されていた以前よりは、高額品が動くなど様子に変化がみられる。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、単価共に若干増加傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数は余り変わっていないが、晴天続きで高温のため冷たい飲食物等の商品の売上が向上している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍に加え、梅雨明け宣言が見送られるなど7～8月上旬の天候不順もあり来客数も下降気味だったが、このところの高気温で上向きになってきている。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・規制緩和や季節要因にて外出の機会が多くなったようである。
	○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・3か月前は新型コロナウイルスの緊急事態宣言等で消費が止まってしまっていた。
	○	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・3か月前と比べれば来店客数は増えているが、前年までは戻っていない。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・8月は猛暑のお陰でエアコンなどの季節商材が売れており、エアコンは前年比150%である。前年も猛暑だったが、前年よりも更に単価が高く、台数もアップしている。
	○	家電量販店（従業員）	お客様の様子	・6月以降、給付金特需が少なからずあり、今月についても多少なりとも給付金の効果が出ている。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・5月の売上は前年比62%だったが、今月は前年比プラス10%で推移している。客の動きも徐々に回復してきている。
	○	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来店客も徐々に増え、滞在時間も長くなりつつある。商談がしやすくなってきている。
	○	乗用車販売店（本部）	来客数の動き	・来客数が大分戻ってきている。特に新規来場者が増えたことで、即決商談も目に付くようになってきている。購入を控えていた客層の動きが目に見えて活発である。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響があった3～5月よりは売上が戻ってきているが、状況が悪いことに変わりはない。先々の見通しもある程度は立ってきたが厳しい予測になる。特に8月は帰省客が少なく、成人式や同窓会等も全くないため飲食店のダメージが大きい。応援の施策等もしてはいるが、もっと国や行政が直接的に支援しないとどんどん廃業する店が増える。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言時の大幅減少に比べると、販売量は前年同月比9割まで回復している。	

○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で休業しており、売上はゼロであった。
○	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・自粛状態は緩和され、客は徐々に戻ってきているようで、今月は季節要因もあり例年並みに近づいている。
○	観光型旅館(スタッフ)	販売量の動き	・先行予約が少なく間際の申込みが極端に多くなっている。Go To Travelキャンペーンの関係で、宿泊人数は少ないが単価がアップしている。
○	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・県民対象の宿泊割引、Go To Travelキャンペーンによってどちらかといえば上向きになっている。
○	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・ステイホームが定着し、自宅での時間が増えたため、テレビの視聴時間やインターネットの利用時間が増えている。新しい生活様式としてインターネットを活用することが増えたため、利用者も継続的に増えている。外で金を使わなくなったため、家での生活に金を使うようになってきている。このためテレビとネットのセット加入者も増えてきている。
○	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・販売量が前年同月比で105%と、3か月前に比べて回復してきている。
○	観光名所(職員)	来客数の動き	・3か月前と比べれば確かに良くなっているが、比較する分母が全然違うので景気が良いとはいえない。ただ、少しずつ外からの、予約のない客の入込が増えてきており、やや上向きにはなっているようである。天候に助けられている面も大きいですが、その数が増えていけば、幾らかは取り戻せるのかなという状況である。
○	美容室(経営者)	来客数の動き	・3か月前の5月は途中から県をまたぐ移動ができるようになり、それまで完全にアウトであった移動部分が良くなった時期である。そこの落ち込んだ数値と比べてやや良くなったということである。
□	一般小売店〔書籍〕(経営者)	販売量の動き	・楽器部門は相変わらず好調であり、客単価も上がっている。しかし、書籍部門は8月の入荷、物流の日数減少やお盆の帰省客のマイナス等により少し悪い。部門によってばらつきがある。
□	一般小売店〔医薬品〕(経営者)	販売量の動き	・既存客の来店は減っているが、新型コロナウイルス関係のものが相変わらず売れているので、その分、販売量と共に新規客の来店が伸びている。
□	一般小売店〔寝具〕(経営者)	販売量の動き	・冷夏と思いきや猛暑となるも、夏物はほとんど動きがない。
□	一般小売店〔カメラ〕(店長)	来客数の動き	・来客数は徐々に回復してきているが、まだまだ売上確保が厳しい状況が続いている。
□	百貨店(買付担当)	お客様の様子	・衣料品の苦戦が目立つ。仕事着やふだん着でも外出用の需要が極端に減っている。
□	百貨店(経営者)	来客数の動き	・来客数が前年よりも減少傾向にあることは変わらない。客単価は向上しているが販売量も前年には届かない。食料品、特選品以外の領域は商品の鮮度も落ち、苦戦している。
□	スーパー(経営者)	単価の動き	・8月の1品単価はこれまで同様前年を超えているが、買上点数と来客数は前年を大きく割り込んでいる。新型コロナウイルス禍のなか、Go To Travelキャンペーンなどでの帰省客増も期待したが、来客数の落ちは大きい。また、大変厳しい暑さも続き、盆期間の売上は前年比1割くらい落としている。旧盆の落ちを後半回復できず、8月は厳しくなっている。ただ、消費の傾向は変わっていない。
□	スーパー(店長)	販売量の動き	・3か月前と比較すると客数平均の買上金額は減少しているが、前年同月と比較すると依然として客単価が高く、前年の売上を超過している状態である。
□	スーパー(店長)	販売量の動き	・8月21日までの数字は前年比売上107.7%と6～7月に続き好伸長である。ただそのなかには前年比108%と伸ばしたお盆期間中の売上の部分もあるので、そこについては膨らんでいる。しかし、それを抜きにしても5～6月と同程度の伸びを示している。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・相変わらず前年比30%以上の減少が続いており、客が戻っていない状況に変わりはない。特に夜間、週末の入りが回復していない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍のなかで、相変わらずどこにも出掛けられない人が多いため、変わらず静かに推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で夏祭りが全て中止になり観光客、祭り客の人数が減少し、売上に大きく影響している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ステイホームが染みついてきたのか、遅い時間の来客数が減っている。朝、昼、夕方までの早い時間まではそれほど悪くないが、夜に出歩かなくなったのが顕著であり、苦戦している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	来客数の動き	・一部商品の売行きが伸びているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年配の方の来店数が減っているようである。よって全体では変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・クレジットを組んでまで新車を入手する個人客がいなくなっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・7月上旬に当地で新型コロナウイルス感染者が発生して、濃厚接触者が誰か不明との報道があったから、集客が大幅に減少している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・元売りからの卸売価格が上がってきている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンがあったにもかかわらず、お盆休暇も客の動きは余り変化がなかった。特に県をまたいだ移動については余り効果がなかったようである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が極端に少ない状況が続いている。ランチタイムは以前の30～40%程度で、ディナータイムにおいては5～10%の来客しかない。パーティーなどの需要もなくなり、大変厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新たな感染者が、減少から急激な増加に変わり、客が増加に向かっていた傾向が急速に冷え込んでいる。Go To Travelキャンペーンによって出掛けようとする客層と、新型コロナウイルス感染者数の増加によって出掛けることを控える客層が共存し、販売が伸びない状況に陥っている。よって、3か月前と変わらず、いまだに非常に厳しい状況にある。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前月とほぼ変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスに加え、連日の真夏日により、街中は曜日に関係なく人や車の数が少なくなっており、まるで日曜日の朝のようである。財布のひもがキツく結ばれている証拠である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に関しては、業種によりばらつきはあるものの、全体的に良いとはいえない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数以外にも客単価など、自家需要にシフトチェンジしている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は大きく、また県内で新型コロナウイルス感染者が確認されたことで地元住民の来場が激減している。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・官公庁の入札において、最低制限価格を下回り失格となる業者が現れ始めている。受注業務の量と金額の減少が発生することが想定されることから、変わらず悪い状況が続いていると判断している。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・戸建て住宅ではなく集合賃貸住宅の受注が伸びている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器は猛暑によりエアコン交換を急ぐ問合せが急増している。リフォームは特別定額給付金の特需で増改築、塗装工事が増えている。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が続いており、帰省客が大幅に減少している。

▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・7月下旬の当県初の新型コロナウイルス感染者の発生や8月の七夕祭り中止の影響により、来街者数が大幅に減少している。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・各所で毎年あったイベントが中止となり、それに伴う売上がゼロになっている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・8月のお盆商戦は帰省客の減少に伴う売上不振で、月間の売上が厳しくなっている。売上は前年比102%を維持しているが、来客数は前年比97.8%で推移している。菓子、飲料、酒が前年を割り込んでいる状況である。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・大雨による被害と青果物の高騰、高温による需要の変化、お盆期間の帰省客の減少で地域の経済環境は確実に悪化している。来客数は95%ながら、バック単価の高騰とまとめ買いで客単価は上がっているが、曜日対比では前年を下回る日が多くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、来客数が減少している。また、レジ袋有料化により、買上点数が若干減っている。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・東北各地の祭りや花火大会中止により、飲料、アイス、ファーストフードの需要が低下し、前年比80%に落ち込んでいる。一方で、生鮮品や冷凍食品など内食需要商品が伸びているが、全体を押し上げるほどではない。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・竿燈（かんとう）の中止等により観光客が皆無で、土産品の売上が壊滅状態である。お中元商戦も例年よりは2割減少している。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・Go To Travelキャンペーンの影響か、郊外の観光地はにぎわっていたが、市内でショッピングという効果は得られなかった。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・例年お盆に関しては、首都圏にいる方々が帰省されて、帰省された御家族を囲んで買物するといったマーケットがある。しかし、今年は首都圏からの帰省がなく、そのマーケットが全くなくなったと言っているくらいお盆商戦が大きくへこみ、大打撃を受けている状況である。
▲	衣料品専門店（店長）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの第2波により、夏休みを利用した旅行、お盆の帰省客需要、出張用途のニーズなど、モチベーション需要が低下しているなか、地元客の需要も伸び悩んでいる。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の動きが悪く、買い控えをしている人が多い。
▲	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者の増加が市内でも止まらない。当店の客は比較的高齢の方が多いが、高齢の方は人との接触を避けており、買物も食料品以外は極力避けている。
▲	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・夏の祭りが中止になっており、消費動向がストップしている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の状況も悪く、新規サービスにつながらない。
▲	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・6月下旬から7月中旬までは回復基調にあったが、7月下旬の連休以降は一気に冷え込み、来客だけでなく、市中の人の動きが全くない状況である。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	お客様の様子	・新規の来場組数は増加傾向にあるが、全体の来場組数は前年度比7割程度で推移しているため、やや悪い状況と捉えている。
×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・8月は新型コロナウイルスの影響で帰省客がなく、その分お盆商戦が極めて厳しい結果に終わっている。お盆明けも客の財布のひもは固い。マインドが委縮している状況がみられる。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で1年で最大のイベントである祭りが中止となった。売上は壊滅的に下がり経営的にもかなり厳しい。夏で稼げないと冬を越すのはかなりつらい。
×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・当県で新型コロナウイルス感染者が出てから、50代以上の来店が急激に減少している。

	×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注生産なので、受注量の減少により販売量が減少している。
	×	その他専門店 [白衣・ユニ フォーム] (営 業担当)	販売量の動き	・イベントや祭りが一切ないということで、プリントT シャツやポロシャツの注文が全くない。また、地元で一番 大きな祭りもないので付随する売上が全くない。また、今 年は梅雨明けが遅かったので夏物のスタートがいつもより 遅くなり、売上にかなり影響している。
	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・一度は良くなる方向に行ったが、第2波でまたキャンセ ルになり、全く暇になっている。東京が回復しないと良く はならない。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がかなりある。日本全国同じ だが、夜の街が全然戻らない状態である。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍で来客数が激減している。客の話 では、会社から外食するなどといったお触れが出ているとい うことである。
	×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・7月に市内で新型コロナウイルス感染者が出た影響を引 きずっているようである。来店ではなく出前での注文は増 えたが、店内飲食とは違いアルコールやつまみなどの注文 がないために売上は伸びない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・人の移動に関しては公共交通機関の利用客が減ったまま の状況である。我々の仕事としても、接遇のチャンスがほ んどない状況になっている。
	×	通信会社 (営業 担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスと猛暑の影響で農作物の生産が落ち 込み、野菜が高騰している。よって、消費動向も更に厳しい 状況になっており、経済サイクルが鈍化しているため、 悪くなっている。
	×	通信会社 (営業 担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で特に飲食業、観光業が大 きなダメージを受けている。
	×	遊園地 (経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる出控え、夏休みの短縮、そし て帰省客、県外客の大幅減で、前年の6割に達していな い。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	農林水産業 (従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・8月に入り晴天続きでももの品質が甘さもより大変良 かったことと、春先の気候のせいで実の付きが8割程度と 悪かったことによる品不足があり、例年より3割程度値段 が良くなっている。
	○	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・3か月前の当県は緊急事態宣言解除直後で、首都圏等か らの旅行者、出張者は全くなかった。現在も観光客はない が、ビジネス等による出張者は少しずつ見られるようにな ってきている。ただし、8月は七夕祭りが中止されたのが 大きなマイナスとなっている。
	○	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・先行きの不安感はあるが、受注は上向いてきている。
	○	建設業 (従業 員)	受注量や販売量 の動き	・民間の大型設備投資案件について、当初より遅れはあつ たものの契約に至っている。
	○	金融業 (広報担 当)	取引先の様子	・インバウンド効果は消滅したままだが、新型コロナウイ ルス感染例の少ない地域でもあることから、3か月前に比 べ地域における消費行動は相対的に活発化している。外食 産業の業況も持ち直しの兆しがみられる。
	○	広告代理店 (経 営者)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続いている。
	□	農林水産業 (従 業者)	受注量や販売量 の動き	・さくらんぼの売上が全て入金になったが、価格はここ数 年ない高値だったものの、収穫量が少なかったことから、 売上額は減少している。
	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量の前年割れが続いており、3か月前と比べても悪 い状況に変化はない。
	□	出版・印刷・同 関連産業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・イベントの中止に伴い印刷物が減少している。また、学 校行事の中止に伴いP T A新聞等の発注も減少している。
□	出版・印刷・同 関連産業 (経理 担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前の売上は前年同月比で20%減少していたが、今 月も20%減少のままである。悪いままで変化がない。	

	□	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が長引いており、経済回復の動きはみられない。また、政府からの給付金も経済回復への影響は余り見られない。
	□	建設業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で、客先の設備投資計画に延期や規模縮小となる案件が散見される一方で、一部設備投資を再開する客先もあり、一概に悪化しているとも言い切れない。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客との対面は依然として困難であり、対応に苦慮している。
	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・地域の夏祭りも軒並み中止で、イベント関連の集客人数緩和に期待していたが先送りされ、広告業界復調の兆しが見当たらない。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・中心商店街や郊外商業施設では、来街者、来店客は回復しつつあるが、実需に結び付いているとの実感は薄い。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・住宅会社における受注数の減少が前年と比べ顕著である。例年はお盆を機に問合せや見学希望が増えるが今年は動きが鈍い。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6～7月と新型コロナウイルスの影響から少しずつ回復していたが、8月は七夕祭りの中止やお盆の帰省の自粛から、売上は前年の約半分となっており大変厳しい。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・米中貿易摩擦により、取引先の生産数が減少傾向で、半導体の受注量が影響を受けている。
	▲	金融業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、消費行動に盛り上がりが見られない。特に、飲食、ホテル業は先が見通せない状況が続いている。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。飲食関係は売上が前年水準まで戻らず低空飛行を続けており、苦しい企業が多い。小売店も同様であるが、一部業種は巣籠り需要で業績が伸びている。建設関係は一定程度の業績を維持しているところが多い。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・雇用調整助成金を活用し、社員を計画的に休業させて販売活動を調整してきた。最近では売上を拡大するため徐々に稼働日数を増やしてきたが、計画どおりには売上が伸びず苦労している。まだまだ新型コロナウイルスの影響が続いている状況である。目先の受注獲得のために新型コロナウイルス感染拡大防止商品の扱いを増やしているが、単価が低く業績回復までには至っていない。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・公共工事に加え民間工事も低調で、地域格差はあるものの全体として先行きに大型物件がない。また、値上げも浸透していない。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月の売上は前年比で20%超の減少見込みと、4月以降で一番の落ち込みになりそうである。
	×	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年の2月頃から、新型コロナウイルスが原因で毎月売上が前年比5～10%落ちており、利益はそれ以上落ちている。大変困っている状況である。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が減少した状態から持ち直してきており、増加傾向に戻ってきている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・相変わらず低迷状態が続く求人数だが、前月よりは回復し前年比85%くらいまで戻ってきている。ただ、業種的にはIT、通信分野が主流で、新型コロナウイルス流行以前の主流であった流通・サービス業はほとんど見当たらない。
	□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・景気はやや悪い状態が続いている。飲食業、旅行業、サービス業は少し回復してきたとはいえ、相変わらず前年の半数、良くて7割くらいしか戻っていない。建設業は新型コロナウイルスの関係で設備投資を控える動きが出てきている。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス禍の状況で大きな変化がなく、悪い状況が続いている。
	□	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・ここ数か月が悪い状況が変わらない。前年と比べ、受注がかなり減っている。

□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染者が地域内で見つかったニュースが流れるたびに、外食産業や観光客を相手に商売をしている店から徐々に人が減っていく。夏場の感染拡大によって、上向きかけた消費動向も冷え込んでしまったようである。
□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者はそれほど増えていないが、新規求職者に占める事業主都合離職者の割合が増えている。
□	職業安定所（職員）	それ以外	・雇用調整助成金等の申請が、増えているわけではないが減ってもいない。
□	学校〔専門学校〕	それ以外	・新型コロナウイルスの感染症防止の影響から、景気状況はいまだ変わらず、低迷が続いている。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・依然として派遣受注は低迷している。しかし、取引中の客、特に事務センター系は新型コロナウイルス禍にあってもサービス向上のため増員しており、その需要に支えられている。悪循環の様相は回避したとみている。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数がここ数か月連続で前年同月を下回っている。新型コロナウイルスの影響で、先行きの不透明感から求人の手控えが続いているとみられる。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べてほぼ横ばいだが、月間有効求人数は3か月前と比べて減少傾向が続いている。
×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前年比50%前後の動きで、改善傾向が見られない。特に飲食、宿泊業界は壊滅的な状況である。大手企業も求人需要は一向に改善されない。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ている。